

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		水道施設維持管理事業				②事業番号		6205	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		昭和 33 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		○ 法令	条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称	
⑦実施手法		直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款	B	項	1	目	1	細目	11・16・19・26・
⑨担当部名		⑩担当課名					会計		
上下水道部		上水道工務課					水道事業会計		

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位													
① 水道施設(設備)		① 設備台数		台													
②		②															
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位													
- 各水道施設(設備)の毎日巡回点検・月次点検・年次点検及び修繕を行う。 - 設備場所(中央・六尾配水場・新家受水池・新家配水池・砂川台加圧ポンプ場・童子畑送水ポンプ場・童子畑配水池) - 高圧・低圧受電設備・送水ポンプ・配水ポンプ・計装設備・監視制御設備等		① 点検回数		回													
		② 修繕数		回													
		③															
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位													
巡回・点検及び修繕等を行うことにより、各施設(設備)の機能を適正な状態に維持管理し、運転機能の確保を行う。		① 各施設(設備)の停止		回													
		計算式															
		②															
		計算式															
		③															
		計算式															
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け															
安全で安定した各水道施設(設備)の運営ができ、加えて各設備の維持管理により設備の更新時期等が計画的に行うことができることで、水資源の有効利用を図ることができる。		<table border="1"> <tr> <td>政策(章)</td> <td>5</td> <td>快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち</td> </tr> <tr> <td>施策大(節)</td> <td>2</td> <td>活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします</td> </tr> <tr> <td>施策中</td> <td>3</td> <td>上水道の充実</td> </tr> <tr> <td>施策小</td> <td>4</td> <td>設備の更新</td> </tr> </table>				政策(章)	5	快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	施策大(節)	2	活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします	施策中	3	上水道の充実	施策小	4	設備の更新
政策(章)	5	快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち															
施策大(節)	2	活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします															
施策中	3	上水道の充実															
施策小	4	設備の更新															

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	設備台数	台	122	135	135	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②						—	—	
活動指標①	点検回数	回	176	173	173	—	—	
活動指標②	修繕数	回	8	5	5	—	—	—
活動指標③						—	—	
成果指標①	各施設(設備)の停止	回	0	0	0	—	—	
成果指標②						—	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③						—	—	
事業費	投入人員	正職員	人	0.90	1.00	0.95	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	—	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	—	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	7,227	8,030	7,702	—	
		直接事業費	千円	22,853	20,439	15,476	—	
		総事業費	千円	30,080	28,469	23,178	—	—
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	—	—	
	府支出金	千円	0	0	0	—	—	
	受益者負担金	千円	30,080	28,469	23,178	—	—	
	その他特定財源	千円	0	0	0	—	—	
	一般財源	千円	0	0	0	—	—	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	水道施設設置により。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	水道水の安全性等市民の関心も高まるなかで、維持管理がますます重要なものとなってきている。今後は、老朽設備の更新・災害時等のライフライン機能の確保など、計画的維持管理が必要になる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	水道施設の長年の使用による機能低下があるため、各機器の点検等で状況を把握し更新や修繕することで水資源を有効利用できる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい ウ. ある程度 イ. いいえ	水道料金で行っている。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	管理目標や維持管理計画の策定に際しては、水道の利用者のニーズや水道の将来あるべき目標を反映させる必要がある。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	各施設の維持管理をなくして、水道の安定給水は保証できない。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	老朽した施設もあるが、維持管理としては、安定給水ができています。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	維持管理上の各種情報を定量的に把握・分析して運転管理や点検整備の適正化を図る。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当
	A	水質の安全性の確保・効率的な水運用(漏水防止等)・災害時等可能な限りの水道水の供給・老朽施設の更新・維持管理の質的向上・省エネルギー等環境負荷低減の運転管理に努める。	B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—